2022年度　日本工学院専門学校

ＩＴスペシャリスト科

特別講座８

| 対象 | ４年次 | 開講期 | 後期 | 区分 | 選択 | 種別 | 講義 | 時間数 | 15 | 単位 | 1 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 担当教員 | 白幡　知之 | | | 実務経験 | 無 | 職種 | | | | | |

担当教員紹介

独立系SI企業にて主にプログラマとして勤務。携帯電話基地局の交換機、光ファイバーストリーミング映像配信システム、ビル防犯システム、プラズマテレビを使用した遠隔会議システムの開発などに携わる。

授業概要

学生が最新技術動向を業界のプロフェッショナルから聴講し、見識を広めることを目的とする。ITの技術は転換期にあるため、今後必要とされる人材は、知的好奇心を持ち、興味を持った事柄についてはその深層まで探究することができる人間である。さらに、多様性が求められる昨今、学生とは異なる環境にいる人との交流を持つことが多様な価値観を持つ他者への理解につながる。本講義では学生の知的好奇心を刺激すること、他者に対する想像力、発想力を養うことができる。

到達目標

学生が本講義を聴講することで、最新技術動向に深く関心を持ち、主体的に勉強会、カンファレンス等に参加するようになることを目標とする。さらに、就職活動をする上で学生自らの目指す業界、人材像を定めることができるようにする。ダイバーシティーが求められる時代に沿って多様な価値観を持つ他者に対して、想像力を持って接し、思いやりを持つことを目指す。聴講レポート作成を通して文章作成能力を向上させ、情報を整理して発表するための論理的思考力を養うことを目標とする。

授業方法

本講義では外部講師による講義となるため、各講師ごとに事前調査、聴講、聴講結果報告の3ユニットで実施する。聴講内容の理解がより深まり有意義なものとなるため、事前調査は必ず行い、重視する。授業時間外での主体的な予習も奨励する。学生の知識定着のため、聴講しただけで終わらず、必ず聴講結果レポートも作成する。外的環境との関わりにおけるビジネススキル向上を意識し、受講マナーについても指導を行う。

成績評価方法

試験・課題　70%　課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価
成果発表　　20%　授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価
平常点　　10%　積極的な

履修上の注意

本講義では学生が主体的に学習する姿勢を重視する。具体的には事前調査の精度、外部講師への積極的な質問、関わりを評価する。聴講後のレポートには、聴講内容を羅列するだけではなく、自らの考えや新たに学習した事柄について調査した結果等を記載することを求める。講義中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。講義に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。ただし、授業時数の４分の３以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

教科書教材

毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、講義毎に指示する

| 回数 | 授業計画 |
|---|---|
| 第1回 | 事前調査　聴講テーマにそった事前知識を調査し、情報を整理することができる |
| 第2回 | 事前調査報告　事前調査によって整理した情報を他者と共有するために説明、発表することができる |
| 第3回 | 聴講　知的好奇心をもって聴講し、見識を深め、テーマについて深層まで探究することができる |
| 第4回 | 聴講結果報告　聴講内容を振り返り、新たな知識を定着させることができる |
| 第5回 | 聴講結果報告・まとめ　結果報告、自ら調査した事柄を他者と共有するために、情報を整理して説明することができる |